

手作りの掲示物が光る保健室

京都市西京区洛西ニュータウンの竹林や柿畑が広がる場所にある

西陵中学校を訪問しました。

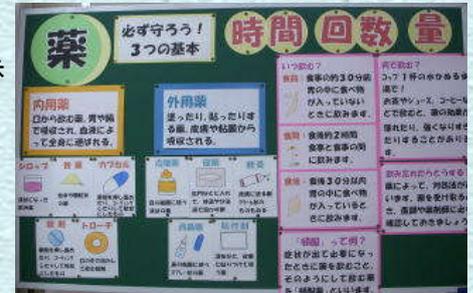
四面を道路で囲まれた広い敷地の中学校です。正面玄関付近や保健室前の廊下には、多くの掲示板があり、生徒の写真や書なども飾られています。訪問した時にちょうど、校長先生が写真を掲示されているところでした。心がなごむ学校環境を作るために様々な工夫がされています。



《手作りの掲示》



月ごとのテーマに合わせ、作成した掲示物を見やすいようにレイアウトしてあります。一度使った掲示物は、ロッカーに保管し、使ってもらえる学校へ貸し出しすることもあるそうです。



3月には、保健室前に桜の花が咲きます。そこには、1年間の成長を喜ぶ養護教員からのメッセージが込められています。裏側にすれば、“卒業おめでとう”“入学おめでとう”のメッセージになります。年間を通して、効率よく掲示するためのアイデアが至るところに感じられました。

《おみくじ》

“心に残る一言”が書いてあるおみくじは、生徒達の大人気。受験時期になると保健室へ来室した生徒が静かにおみくじを開いて読んでいることもあるそうです。ほとんどの生徒は、ていねいにおみくじを元に戻して帰るそうですが、中には、お守り代わりに生徒手帳に挟んで持ち帰る生徒もいるようです。



《ベッド》

休養が必要なときだけ登場するベッド!! 生徒が落ち着いて休めるようにスクリーンで囲み、安全で快適な空間になっています。隣のベッドで休んでいる人と顔が合わないようスクリーンを置き、枕の位置を変えるなどの配慮がされていました。ここにベッドがあることに気付かない生徒もいるそうです。



《個別スペース》

保健室の奥には、保健室登校の生徒や気持ちを落ち着けたい生徒等がいる時に使える個別スペースがあります。他の生徒に会わないようにスクリーンで囲うことで、ゆっくりと落ち着いて活動できるようになっています。
様々な生徒に対応できるような仕組みが、保健室内に作られていました。



西陵中学校のホームページへ